

平成28年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

上場会社名 WBFリゾート沖縄株式会社

上場取引所 東

コード番号 6179

URL <http://www.wbfresort-okinawa.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 兼城 賢成

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当取締役 (氏名) 近藤 雅之 (TEL) 098(840)1775

中間発行者情報提出予定日 平成27年12月30日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月中間期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期中間期	1,199	—	88	—	47	—	31	—
27年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期中間期	778 99	—
27年3月期中間期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期中間期	3,819	53	1.4
27年3月期	3,406	21	0.6

(参考) 自己資本 28年3月期中間期 53 百万円 27年3月期 21 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	中間		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	0	00	0	00	0	00
28年3月期	0	00				
28年3月期(予想)			0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,125	9.7	159	6.3	98	15.7	59	△79.7	1,484 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☒

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☒② ①以外の会計方針の変更 : 有・☒③ 会計上の見積りの変更 : 有・☒④ 修正再表示 : 有・☒

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期中間期	40,000株	27年3月期	40,000株
② 期末自己株式数	28年3月期中間期	一株	27年3月期
③ 期中平均株式数（中間期）	28年3月期中間期	40,000株	—

(注) 当社は、平成27年6月16日付をもって、株式1株につき、100株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度にかかる株式数につきましては、前事業年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※ 中間監査手続の実施状況に関する表示

この中間決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この中間決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）2ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 中間財務諸表	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における日本国経済は、内需の緩やかな回復基調が続き、訪日外国人観光客によるインバウンド需要の増加により、消費関連業種を中心に改善した一方、製造業では海外経済の減速による輸出の伸び悩み、在庫調整の長期化により全体的に弱さが見られました。

世界の景気は、アジア新興国等において、弱さが見られるものの、全体としては緩やかに回復しております。

そのような状況の中で当社は、継続したWEB戦略を中心とした販売力の強化と業務の効率化によるコスト削減を主要課題として取り組んで参りました。ホテル事業部門に関しては、販売戦略の刷新による客室単価の向上と稼働率の向上の両立に取り組み、またロコミによる知名度の向上などもあり、順調に成果を上げております。また、その他の部門に関しましては、本年8月に複合商業施設「瀬長島ウミカジテラス」をオープンさせて、ホテル事業部門との相乗効果及び業務の効率化を進めて参りました。

上記の結果、当中間会計期間の売上高は1,199,070千円となり、営業利益は88,832千円、経常利益47,529千円、中間純利益31,159千円となりました。

また、当社は当中間会計期間より中間財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。(以下「(2) 財政状態に関する説明 ②キャッシュ・フローの状況」においても同じ。)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は485,251千円(前事業年度末は479,364千円)となり、5,887千円増加しました。売掛金7,075千円、商品1,938千円が増加し、現金及び預金が22,765千円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は3,334,357千円(前事業年度末は2,926,640千円)となり、407,716千円増加しました。瀬長島ウミカジテラス建築に伴い建物が649,969千円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は1,152,847千円(前事業年度末は729,542千円)となり、423,304千円増加しました。買掛金21,024千円、短期借入金290,010千円、リース債務50,329千円が増加し、未払消費税43,933千円、未払法人税等18,530千円が減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は2,613,632千円(前事業年度末は2,654,492千円)となり、40,860千円減少しました。リース債務101,832千円が減少し、長期借入金32,614千円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は53,129千円（前事業年度末は21,969千円）となり、31,159千円増加しました。中間純利益が31,159千円発生したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、238,558千円となりました。

当中間会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により得られた資金は198,222千円となりました。これは主に、税引前中間純利益47,529千円に、減価償却費192,115千円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により使用した資金は420,872千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出432,876千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により得られた資金は199,944千円となりました。これは主に、短期借入金による収入290,010千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年9月30日に公表しました「事業計画概要について」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年 3 月31日)	当中間会計期間 (平成27年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,324	238,558
売掛金	169,478	176,553
商品	849	2,787
原材料及び貯蔵品	7,018	7,317
前払費用	14,780	12,488
繰延税金資産	7,107	5,737
その他	21,093	44,096
貸倒引当金	△2,288	△2,288
流動資産合計	479,364	485,251
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,341,570	3,067,012
減価償却累計額	△374,182	△449,654
建物（純額）	1,967,387	2,617,357
構築物	136,911	152,711
減価償却累計額	△46,820	△54,162
構築物（純額）	90,091	98,549
車両運搬具	1,677	1,677
減価償却累計額	△1,633	△1,655
車両運搬具（純額）	44	22
工具器具及び備品	54,599	56,149
減価償却累計額	△21,625	△24,212
工具器具及び備品（純額）	32,973	31,936
土地	75,462	75,462
リース資産	741,387	597,609
減価償却累計額	△342,671	△244,422
リース資産（純額）	398,716	353,186
建設仮勘定	217,363	—
有形固定資産合計	2,782,039	3,176,514
無形固定資産		
ソフトウェア	9,024	12,349
その他	—	5,584
無形固定資産合計	9,024	17,933

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当中間会計期間 (平成27年9月30日)
投資その他の資産		
出資金	2,010	2,010
長期前払費用	4,999	8,658
繰延税金資産	42,054	38,630
その他	86,512	90,610
投資その他の資産合計	135,577	139,909
固定資産合計	2,926,640	3,334,357
資産合計	3,406,004	3,819,609

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年 3 月31日)	当中間会計期間 (平成27年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,364	62,389
短期借入金	190,500	480,510
一年内返済予定の長期借入金	174,495	185,888
リース債務	143,396	193,725
未払金	42,496	128,713
未払費用	39,599	66,500
未払法人税等	30,105	11,574
未払消費税等	43,933	—
前受金	3,826	2,940
預り金	4,938	9,732
賞与引当金	8,529	10,870
その他	6,355	—
流動負債合計	729,542	1,152,847
固定負債		
長期借入金	2,308,825	2,341,439
リース債務	321,522	219,690
退職給付引当金	3,941	4,641
その他	20,203	47,861
固定負債合計	2,654,492	2,613,632
負債合計	3,384,035	3,766,479

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年 3 月31日)	当中間会計期間 (平成27年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,969	33,129
利益剰余金合計	1,969	33,129
株主資本合計	21,969	53,129
純資産合計	21,969	53,129
負債純資産合計	3,406,004	3,819,609

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	
ホテル事業売上高	786,811
レンタカー事業売上高	365,905
その他事業売上高	46,352
売上高合計	1,199,070
営業原価	
料飲原価	48,251
商品原価	20,487
役員報酬及び給与	199,629
賞与引当金繰入額	10,870
退職給付費用	699
その他の人件費	52,457
販売手数料	74,584
水道光熱費	57,069
減価償却費	192,115
賃借料	163,452
その他	290,621
営業原価合計	1,110,237
営業利益	88,832
営業外収益	
受取利息	16
その他	1,127
営業外収益合計	1,143
営業外費用	
支払利息	40,739
その他	1,707
営業外費用合計	42,447
経常利益	47,529
税引前中間純利益	47,529
法人税、住民税及び事業税	11,574
法人税等調整額	4,794
法人税等合計	16,369
中間純利益	31,159

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	47,529
減価償却費	192,115
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,340
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	699
受取利息及び受取配当金	△16
支払利息	40,739
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,075
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,236
その他流動資産の増減額 (△は増加)	△18,489
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,024
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△43,933
その他流動負債の増減額 (△は減少)	19,289
その他	18,942
小計	270,928
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△41,594
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払額)	△31,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	60
有形固定資産の取得による支出	△432,876
無形固定資産の取得による支出	△10,699
その他	22,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の借入による収入	290,010
長期借入金の借入による収入	130,000
長期借入金の返済による支出	△85,992
リース債務の返済による支出	△134,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,705
現金及び現金同等物の期首残高	261,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	238,558

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間財務諸 表計上額 (注) 3
	ホテル事業	レンタカー 事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	786,811	365,905	1,152,717	46,352	1,199,070	-	1,199,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,754	2,044	3,798	129	3,928	△3,928	-
合計	788,566	367,950	1,156,516	46,482	1,202,999	△3,928	1,199,070
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	173,833	20,420	194,254	△43,774	150,479	△61,646	88,832
セグメント資産	2,309,681	502,698	2,812,380	1,007,228	3,819,609	-	3,819,609
その他の項目							
減価償却費	75,603	60,822	136,425	55,689	192,115	-	192,115
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,050	81,900	82,950	530,277	613,227	-	-

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、瀬長島ウミカジテラスを含む賃料収入、売店等における商品販売、ホテル外飲食店の飲食物の提供及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△61,646千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。